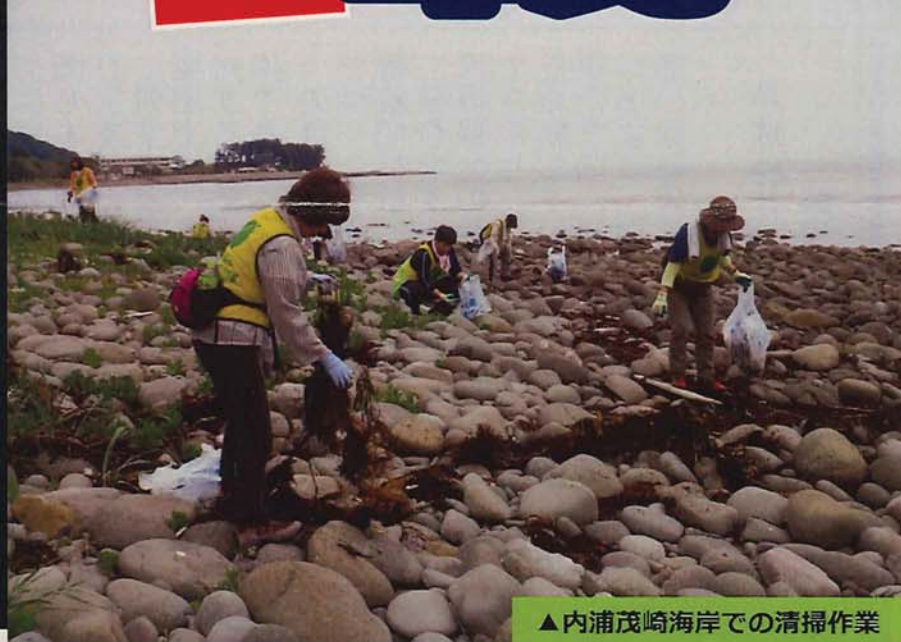


▼バケツリレーで集められる釜谷小倉町のゴミ

祝 第10回 栗島クリーンアップ単戦 速報!



▲子どもたちも大活躍

▲内浦茂崎海岸での清掃作業

今年の参加者は老若男女合わせて375名でした。うち島内参加者は149名、島外参加者は226名で、今年も大変多くの方々にご来島いただきました。様々な団体のご協力や島内外のボランティアの方々と一緒に清掃活動に取り組むことができ、普段は人口わずか360名の栗島が、熱気に包まれる一日となりました。

おおよそ1時間半の清掃作業の結果、茂崎海岸ではフレコン62個分・約3.36トン、小倉町海岸ではフレコン34個分・約1.79トン、合計約5.15トンのゴミが集まりました。今年はおロープや浮き球などの漁具のほかに、バケツなどの家庭ゴミも多く見受けられました。

参加者数 375名

ごみ回収量 約5.15トン

平成29年6月18日、「栗島クリーンアップ単戦」は記念すべき10回目を迎えることができました。今回も去年と同じく、釜谷地区では小倉町海岸、内浦地区では茂崎海岸を清掃しました。暑い中での作業でしたが、曇り空のため日差しが弱く、比較的活動しやすい日となったことも幸いし、全員が一致団結して活動した結果、多くのゴミを回収することができました。茂崎海岸では「例年よりゴミが少ない」という意見があった一方で、両海岸とも、大きな石や流木の間にロープなどが絡まって取り出すことができず、参加者の方が見えなからカッターを借りる様子が見られました。昨年と比べて小倉町はゴミが少なく、反対に茂崎は多かったのが今年の特徴でした。今回も大きな事故や怪我もなく、無事に終了することができました。

栗島の海岸が美しく保てるのは「海を大切にしたい」という気持ちで熱心に活動に参加して下さる皆さまのおかげです。島民だけではできないことに限りがあります。これからも皆さまの支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年の様子

大勢のご参加、ありがとうございました!!

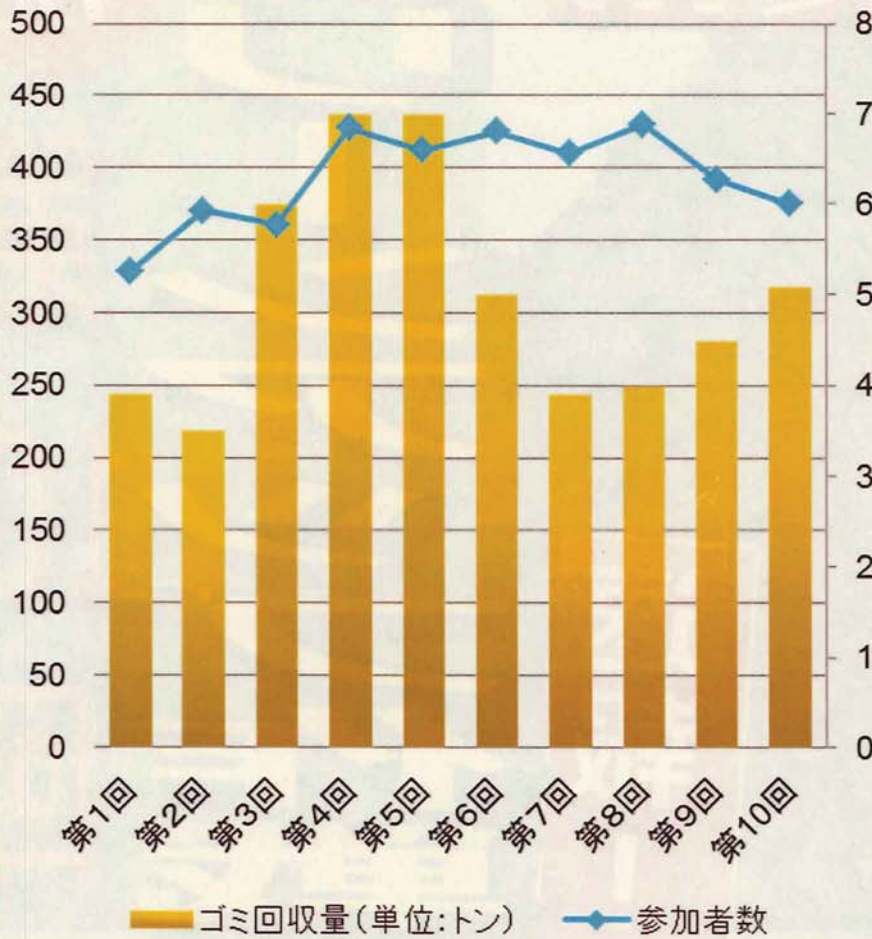
参加者の皆さんの声

- ・ 栗島の自然を楽しみながら活動できた。
- ・ 外国のゴミが多いのがびっくりした。
- ・ 子どもが参加できる仕組みを作ってほしい。
- ・ バケツリレーが少しやりづらかった。
- ・ 海がとても綺麗で栗島を好きになりました。



▲にぎわう昼食会場

参加者数とゴミ回収量の推移



第10回栗島クリーンアップ作戦にご参加いただいた皆様へ

皆様のご協力により、今年もクリーンアップ作戦を無事終えることができました。島内外からご参加いただいた大勢の皆様、また、これまでの準備に携わってこられた関係者の方々に、心より感謝申し上げます。この度クリーンアップ作戦は、10回目という節目を迎えました。これまでこの活動にご支援をいただいたすべての皆様にお礼を申し上げます。

さて、栗島がこの活動に取り組むことになった契機は、NGOのJEA Nの活動や山形県にある飛島の活動の影響によるものです。こうした地道な活動により、平成21年7月には海岸漂着物処理法が施行され、国も本格的に美しい海岸の保全に乗り出すことになり、漂着ごみの処理に対する支援制度も確立しました。栗島では、住民の自然や環境保全に対する意識が高くなり、ごみのポイ捨てもなくなりました。

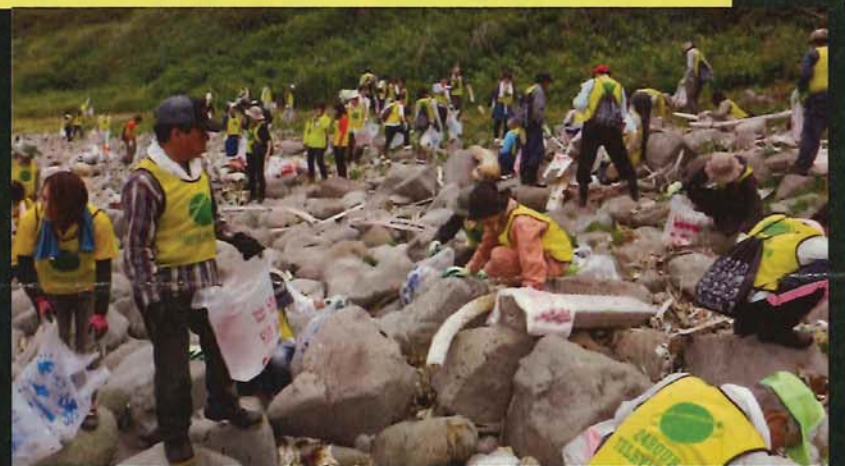
先ほど行われたG7環境大臣会議では、「海のプラごみが地球規模の脅威になる」と警鐘を鳴らし、対策に乗り出すことになりました。海の環境保全の問題は一朝一夕には解決できませんが、これからこの活動を継続していく決意です。未来の子供たちのために美しい海を守っていただけるよう、引き続きご支援のほどお願い致します。

平成29年6月18日

栗島浦村長 本保 建男



▲小倉町海岸に漂着した大量のロープ



▲小倉町海岸での清掃作業

共催

栗島浦村、「24時間テレビ」チャリティ委員会 / T E N Y テレビ新潟、N P O 法人いわふね地域工コセンター

後援

新潟県村上地域振興局、全国離島振興協議会、公益財団法人日本離島センター、新潟日報社、村上新聞社、いわふね新聞社、株式会社毎日新聞新

協力

(株)福田組、(株)高健、(株)アクティオ、新潟NPO協会、NPO パートナーシップオフィス、東北公益文科大学、栗島浦漁業協同組合、漁業研究会、(有)栗島定置、栗島汽船(株)、栗島旅館組合、栗島観光協会、栗島浦小中学校

▲発行▼ 栗島クリーンアップ作戦 実行委員会

平成29年6月18日



▲栗島のゆるキャラ「タイボークン」

またきてね!